

00	09	03	002	永年保存	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議	長	副議長	事務局長	次長	主査	主査	担当							文書取扱主任

第28回 市立病院建替計画等調査特別委員会 会議録

開催年月日		平成22年10月14日(木曜日)	開会：13時30分		閉会：14時04分	
開催場所		第二委員会室				
出席委員		井上、山木、渡辺、酒井、山口、関藤、堀、荒木			事務局	中嶋事務局長
		委員外～窪之内				田湯次長
欠席委員		田村				寺嶋主査
説明員		別紙のとおり				
議件		別紙のとおり				
議 事 の 概 要	1 調査事項について					
	次の事項について、所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。					
	(1) 新病院への移転日程について					
	(2) 新病院への移転業務について					
	(3) 残工事関係について					
	2 その他について					
	鈴木部次長より完成見学会等の予定について報告があった。					
	3 次回委員会の日程について					
	正副委員長に一任することとした。					
	上記記載のとおり相違ない。市立病院建替計画等調査特別委員長 井 上 正 雄 ㊞					

平成22年10月12日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席について

平成22年9月29日付け滝議第106号で通知のありました市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

市立病院事務部長	東 照 明
市立病院事務部次長	鈴 木 靖 夫
市立病院事務部改築推進室主幹	田 中 武 雄
市立病院事務部改築推進室主任技師	横 田 和 典

(総務部総務課総務グループ)

第 28 回 市立病院建替計画等調査特別委員会

H22. 10. 14(木) 13:30
第 二 委 員 会 室

○開 会

○委員長挨拶(委員動静)

1. 調査事項について

- | | |
|-------------------|-------|
| (1) 新病院への移転日程について | (口 頭) |
| (2) 新病院への移転業務について | (口 頭) |
| (3) 残工事関係について | (資 料) |

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○閉 会

第 28 回 市立病院建替計画等調査特別委員会会議録

H22. 10. 14 (木) 13 : 30

第二委員会室

開 会 13 : 30

委員動静報告

委 員 長 欠席～田村。委員外～窪之内。北海道新聞、毎日新聞、プレス空知の傍聴を許可する。

1 調査事項について

委 員 長 (1)、(2) について説明願う。

(1) 新病院への移転日程について

鈴木部次長 これまで新病院の移転については、平成 23 年の春にオープンすると申し上げてきたが、その病院の移転日程が決定した。病院の移転については、一般の移転業務とは違い医療現場や患者が存在することから、新病院への移転日についても病院内において慎重に検討してきたところである。9 月 14 日の病院事業運営会議で正式に決定した。移転日の日程については、平成 23 年 3 月 11 日金曜日、12 日土曜日、13 日日曜日、14 日月曜日、15 日火曜日の 5 日間で移転を行い、16 日水曜日に新病院を開院というような日程に決定した。この 5 日間の移転の中で、医療機器、什器・備品、また入院患者の搬送等を行うが、この移転期間内の救急外来への対応については、今後さらに検討して決定したいと考えているので、決まり次第お知らせしたい。

(2) 新病院への移転業務について

鈴木部次長 移転業務の業者の関係だが、移転業務の業者選定については、先ほども言ったように病院の移転というのは一般的な移転業務とは違い医療現場や入院患者が存在する特殊なケースである。豊かな経験とノウハウによる緻密な計画、実行が必要であり、医療にかかわる機器・備品等が安全かつ確実に搬送されることが重要である。以上のようなことから業者を決めるに当たり、金額面だけではなく過去における同様の移転業務の実績などが重要であるといったことで、過去の病院移転実績などを資格要件として、9 月 14 日から 24 日までの期間で入札参加資格の登録について告示をした。その結果、登録された業者 2 社を指名してプロポーザルを実施して優先業者を決定し、最終的に 1 社と随意契約ということで行いたいと考えている。現在 2 社からプロポーザルの参加届け出があり、10 月 20 日を提出期限として企画提案書と見積書の提出を求めている。その後、プロポーザル審査委員会を開催して業者を決定したいと考えている。なお、契約予定月日は 11 月 1 日で、登録業者は日本通運、札幌通運の 2 社である。

委 員 長 説明が終わった。質疑はあるか。

酒 井 3 月 16 日に新病院が開院ということが正式に発表されたわけだが、11 日から移転ということで、それ以外にいろいろなものの移転が行われると思うが、そういったことについてはないのか伺う。

鈴木部次長 3 月 11 日から 15 日までが本移転と考えているが、その前段 1 週間、2 週間前に前もって運んでも問題ないようなものについては前移転ということで移転業務を行うことを考えている。この辺については業者が決定した時点で細かく日程を詰めていきたい。

委 員 長 他に質疑はあるか。

窪之内委員外議員 ① 患者の移転は、別に業者がかかわらないで院内でということで確認してい

いのか伺う。

鈴木部次長

② 時期的に大雪も予想されるが、そうした場合も支障はないのか。備品関係、重症患者も含めての移動にどのような対策をとるのか伺う。

① 患者の搬送については、移転業者の業務の仕様書の中に、患者搬送の支援業務も入っているので、病院と業者と協力のもとで患者を確実に安全に搬送する手順を考えている。

② 3月はまだ雪が残っている時期で天候に左右されることもあるので、新病院と旧病院をつなぐ仮設廊下を12月中に設置する予定である。その仮設廊下を使って患者を中心に搬送するという事なので、その部分に関しては天候に左右されない。それ以外に正面玄関と仮設のスロープを使い2階のサービスヤードを使いながら5日間で移転したいと考えている。

委員長

他に質疑はあるか。(なし) (1)、(2)については報告済みとする。(3)について説明願う。

(3) 残工事関係について

横田主任技師

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。

山口

解体・外構工事の共同企業体ということだが、主な参加資格はどのようなになっているのか伺う。

横田主任技師

まず解体工事については、解体業または建設業の許可が必要になるので、それらの許可を持っている業者が対象になると思う。そのほかに土木工事については、土木工事または舗装工事などの許可を持っているところが対象になると思われるが、基本的には市内業者を対象にということで建設部のほうと調整を図っているところである。

山口

市内業者同士の共同企業体ということなのか伺う。

横田主任技師

参加登録業者などを確認しながらとなるが、基本的には市内業者同士の共同企業体ということで建設部のほうと調整している。

委員長

他に質疑はあるか。

窪之内委員外議員

きちんと地盤調査もしてこの病院を建てたわけで、解体後は地盤に関する調査等が必要になってくることは考えられないのか。解体したらすぐに駐車場という形でどんどん進めていけると考えていいのか伺う。

横田主任技師

今建物が建っているところは、解体後そのまま路盤を構成して舗装をかけることで問題ないと考えている。

委員長

他に質疑はあるか。(なし) (3)については報告済みとする。

2 その他について

委員長

所管から何かあるか。

鈴木部次長

砂川市立病院が先週市民見学会を開催したが、当院の新病院においても、2月中に見学会を実施することを検討していきたいと考えている。それと移転の関係で若干補足させていただく。移転日程を決めるポイントということで私どもが考えた中身は、休診を最小限にしたいということと先生方を確実に集める日程、それと職員も含めて集まりやすい日程ということを前提に考えてきた。その中で既に確定ということになるが、透析の患者は月曜日から土曜日まで6日間透析業務を行っていることから、透析の部分の移動については、3月13日日曜日ということで14日からすぐに透析を開始できるようなことで考えている。また入院患者は14日の最終日を中心に搬送し、15日はなるべく早く移転を終えて1日余裕を持って確実に点検して16日の開院に備えたいと考えている。

- 委員長
山口 この件について何かあるか。
全般的な工事のことで伺う。実際に建設してみて設計変更といった部分があったのか伺う。
- 横田主任技師 昨年の特別委員会でも報告したが、地盤の中から土砂が出てきたということがあり、1度設計変更の報告をさせていただいたので、その後のことということで説明させていただく。一部院内とのヒアリングの中で間仕切りの位置を小変更したものがあるが、基本的には大きな変更はないと考えている。
- 山口 間仕切りの変更というのは、患者の部屋の広さに影響するようなものなのか伺う。
- 横田主任技師 外来や検査の部分で設計のときに確定していなかった使い方、こういう備品を入れる、こういう部屋になるといった具体的な用途が決定したことにより、ここを少し広くしてほしい、ここを少し囲ってほしいといった部屋が数カ所あり、それらの部分の間仕切りの変更をしたということである。
- 委員長
窪之内委員外議員 他に質疑はあるか。
① 透析患者が13日、入院患者が14日に移動し、11日から15日で移転するというので、結局は11日から15日は、外来も含めて新旧の病院は全部休診になると受けとめていいのか伺う。また救急患者の対応をどのように考えているのか伺う。
② 地盤の中から土砂が出てきて設計変更したという報告は受けていたが、地盤のコンクリートの強度に不安があるという話を市民から聞いている。その点は大丈夫なのか確認したい。
- 鈴木部次長 ① 移転期間内における外来の休診日について、金曜日から翌週の火曜日にわたって本来であれば金曜日、月曜日、火曜日が外来診療日なので、土曜日、日曜日はもともと休診ということでその3日間が休診となる。11日から15日の間は新病院も旧病院も外来の診療はないということになる。救急外来の対応については先ほども申し上げたが現在検討中であり、移設されるものもあるのでどれだけの対応ができるのかといったことも踏まえながら検討していきたい。これについては決まり次第皆さんにお知らせしたい。
- 横田主任技師 ② 地盤について不安の声があるとのことだが、まず設計の段階で地質調査を行い、その結果をもとに耐えられるということで設計をして進んでいる。もちろん施工に入ってから期待されている強さが確保されているかを実際に試験を行って確認しているので問題ない。
- 委員長 読売新聞の傍聴を許可する。私から伺わせていただく。
① 先日の報道によると2,000人以上の人が砂川市立病院の内覧会に来たとのことである。滝川市立病院においては、開院と完成に係るセレモニーをどういうふうに進めようとしているのか伺う。
② 病院にかかわるモニュメントなどはあるのか。そういうものの除幕なども予定しているのか伺う。
③ 砂川市立病院でのそれらに関する予定でわかっていることがあれば伺いたい。
- 鈴木部次長 ① 今後引き渡しを受けてから移転までの間で行おうとしているイベントということでは市民見学会、それと3月16日が開院なのでそれに合わせて開院式がある。完成式をいつやるべきかというのは検討中で、開院前に第一期工事の時点でやるべきなのか、第二期工事すべてが終わってからやるべきなのか、開院前か開院後なのかといったさまざまなことを検討している。完成式については

具体的になるのはもう少し時間をいただきたい。

② モニュメントの関係では、五十嵐威暢氏から1階の吹き抜けのところにモニュメントを寄贈していただくことになっている。その関係についても開院式か何かのイベントの時点に合わせて除幕式等を企画したいと考えている。

③ 私どもで押さえている部分では、10月28日開院ということなので、そのときに簡単な開院式があるだろうということだが、完成祝賀会ということで市長と病院長にも招待のはがきが届いている。11月27日土曜日に完成祝賀会をやるということで、病院の見学を2時間ほど行ってからホテルに移って祝賀会ということで予定していると確認している。

委員長

他に質疑はあるか。（なし）この件については報告済みとする。

3 次回委員会の日程について

委員長

正副委員長に一任いただくことでよいか。（よし）以上をもって第28回市立病院建替計画等調査特別委員会を閉会する。

閉 会 14:04